UDデジタル教科書体NK-R 10

接い実践できる。看護過程の思考がわかる。	専門課程シラバス			UDデジタル	教科書体NK - □	R 10	
担当教員 武森 勢津子 実務経験 ○看護師 授業概要 指導の対象を理解し、看護の基盤となる知識・技術・態度を習得する。また、科学的根拠に基づいた看護が実践できる。看護過程の思考かわかる。	科目区分	専門分野	単位数・時間数	2 単位・	90時間	開講時期	2年・ 後期
接来概要	授業科目名	基礎看護学実習				授業形態	臨地実習
要習目的	担当教員	武森 勢津子 実務経験			実務経験	〇看護師	
### 28	授業概要	看護の対象を理解し、看護の基盤となる知識・技術・態度を習得する。また、科学的根拠に基づいた看 護が実践できる。看護過程の思考がわかる。					
到達目標 2. 看護過程の展開を通して、問題解決思考の基本が理解できる。 3. 到達レベルに基づいて、看護技術が安全安康に実施できる。 1. 対象・理解をするための適切なコミュニケーションを図ることができる。 1. 対象と積極的にコミュニケーションを図る。 2. コミュニケーションから看護に必要な情報収集を行う。 3. 関心をもって対象の話を聴く。 2. 看護過程の展開を通して、問題解決思考の基本が理解できる。 1. アセスメントを行う。 2. 有護動格ではびる。 3. 計画立案ができる。 3. 対象に応じた援助ができる。 3. 対象に応じた接助ができる。 3. 対象の状態に応じた安全・安楽な援助が実施する。 2. 実施前・中・後の対象の状態の観察を行う。 3. 接助をのフィードバックを行う。 4. 看護の評価が理解できる。 1. 指導を受けながら、評価による目標および計画の変更修正を行う。 2. 指導を受けながら、評価による目標および計画の変更修正を行う。 5. 到達レベルに基づいて看護技術が安全・安楽に実施できる。 1. 有護技術の到達度に沿って、積極的に看護技術を実施する。 2. 対象の状態をアセスメントしながら安全・安楽に看護技術を実施する。 実習時間: 8 : 0 0 ~ 1	学習目的						
1) 対象と積極的にコミュニケーションを図る。 2) コミュニケーションから看護に必要な情報収集を行う。 3) 関心をもって対象の話を聴く。 2. 看護過程の展開を適して、問題解決思考の基本が理解できる。 1) アセスメントを行う。 2) 看護診断を付ける。 3) 計画立案ができる。 3. 対象に応じた援助ができる。 2) 実施前・中・後の対象の状態の観察を行う。 3) 援助後のフィードバックを行う。 4. 看護の評価が理解できる。 1) 指導を受けながら、評価による目標および計画の変更修正を行う。 2) 指導を受けながら、評価による目標および計画の変更修正を行う。 5. 到達レベルに基づいて看護技術で安全・安楽に看護技術を実施できる。 1) 看護技術の到達度に入て、積極の活産養技術を行う。 2) 対象の状態をアセスメントしながら安全・安楽に看護技術を実施する。 実習期間: 1 2 日間 実習時間: 8:00~1 5:30 薬習展開については実習要項参照	到達目標	2. 看護過程の展開を通して、問題解決思考の基本が理解できる。					
評価方法ら学生・教員 (臨地実習鵜指導者所見) で評価を行い総合評価がC以上で合格とする。基礎看護学講座 1 基礎看護学概論 (医学書院) 系統看護学講座 2 基礎看護学 2 基礎看護技術 I (医学書教科書務科書院)系統看護学講座 2 基礎看護学 4 臨床看護総論 (医学書院) 看護技術プラクティクス (学研)	授業內容	3. 到達レベルに基づいて、看護技術が安全安楽に実施できる。 1. 対象理解をするための適切なコミュニケーションを図ることができる。					
系統看護学講座 2 基礎看護学 2 基礎看護技術 I (医学書 教科書 院) 系統看護学講座 2 基礎看護学 4 臨床看護総論 (医学書院) 看護技術プラクティクス (学研)	評価方法	, and the second					
備考	教科書	院)	系統	看護学講座 2	ì (医学書院)		
	備考						